

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校

校長 大塚 潤

進路を見つめて切り拓く

進路指導は生き方指導

特に最近、若者の間で、フリーターや引きこもり、せつかく就職したのに、すぐに辞めてしまう、などの深刻な問題が指摘されています。労働や雇用の在り方が大きく変化してきたことも原因の一つなのかもしれません。

同時に自己中心的で、集団や規則に順応できず、気に入らないことにはすぐにキレる等といった、若者自身の問題もあるといわれています。

将来の生活設計の能力を身に付けさせることが求められています。かつては、生徒の学力に応じて進学高校を振り分けることや、就職の斡旋が進路指導の中心でしたが、現在は「生き方指導」としての進路指導を3年



上は、彫刻士、下は、美容師の方の講話

一枚の紙切れ

今から1年ほど前の高校入試の出来事。朝からの3科目のテストを終えて、体育館でみんなでお弁当を広げようとしたとき、私のお弁当に一枚の紙切れが折りたたまれてセロハンテープで留められているのに気がついた。

当然、母からであることはすぐにわかった。しかし、みんなの前で読むのがなんとなく恥ずかしかったので、誰にも見つからないように慌てて制服のポケットにしまい込んだ。そして、午後のテストのために再び教室に入ってから、こっそりと机の下のあたりで広げてみた。

「おつかれさま！お昼からも最後まで頑張るんやで。受験番号は忘れるなよ。ちょっとくどかったかな、アハハハ。では、はりきってどうぞ。母さんより。」

普段母は「～やで」とか「～するなよ」とかいう言葉は使わない。

母は、そのような言葉を使って私をリラックスさせようとしたのだ。しかし、無理して使ったあまりにもわざとらしい言葉に、私はなお一層参った。うれしかった。そして、母に心から感謝した。

しかし、家に帰ってから、その手紙のことは何も話さなかった。というより、話せなかった。「ありがとう」の一言ではあるが、照れくさくてとても言えなかったし、言ったら、なんとなく目に涙が浮かんできそうな気がした。母の前では、なぜか泣きたくなかったから……。母は、あの手紙のことを今でも覚えているだろうか。私は、あの日以来ずっと机の中にしまっている。そして、何かの拍子にふっと思い出す。読み返す。ぐっと手応えを感じる。そこに「母」がいる。がんばる意欲が湧く。

そして、再び机の中にしまう。次に私に何かが起こり、また、想い出すときまで……

間で計画的に実践しており、『キャリア教育』と呼ばれています。

「仕事」を学ぶ

1年生は1月25日(水)に職業講話を実施しました。美容師・保育士・警察官・アナウンサー・彫刻士・スポーツトレーナー・地域創生事業(リージョナル・クリエイション)の仕事に携わっておられる方々を7名お招きしてお話を聞きました。今号から複数回に分けて、『職業講話を終えて』と題して、子ども達の感想を掲載します。

職業講話を終えて

○私はまだなりたい職業がないけど、今日の職業講話を聞いて、「当たり前」を続けることがなりたい職業に就くために必要なんだということがわかりました。

だから、なりたい職業を見つめる前から、当たり前前のことを徹底して、なりたい職業が見つけたらそれに向かって、努力していきたいと思いました。

1年1組 廣瀬 侑花

○職業講話を聞く前は、働くことは、生活するために、生きていくためのものだという考えをもっていただけ、講話を聞いて、もちろん生活のためでもあるけど、「誰かのため」という考えが生まれました。

どの講師の方からも「笑顔になってくれることが嬉しい」とおっしゃられていて、「誰かの笑顔のためにすること」と考えが変わりました。自分の将来についての考えが深まったので良かったです。

1年2組 土井 悠愛

○保育士は、子どもが楽しく通えるように工夫されていて、私が小さいと

1年3組 黄 雅暢



きに幼稚園が楽しかったのは、先生方のおかげなんだなあと思いました。アナウンサーは、とにかく、真正正銘のアナウンサーで、めっちゃ聞きやすかったです。テレビに出られていたときは、あんまり意識していなかったけど、とっても大変な仕事だと知って毎日すごいなあと思いました。

1年4組 楠 沙細

は、どのようなトレーニングや施術をしているかわかりました。自分もトレーニングを体験したいと思いました。地域創生事業の内容を聞いて、私達が楽しめるように、いろんなことが考えられていて、その中にいろんな思いがあって工夫があることがわかりました。「長崎が楽しい！」と思えるようなまちにしていきたいと思いました。そしてスタジオムに行きたいと思いました。働くということの大切さや思いを大事にして自分も夢に向かって頑張りたいです。

1年3組 小森 愛生

頑張ったね！おめでとう

☆第41回南部地区中学生ソフトテニス大会
準優勝
大久保真生(2-2) 山下 凌央(2-4)

☆第71回長崎市民美術展絵画の部

奨励賞 井手口色葉(3-4)

入選 高浪 苑子(3-4)

千々岩源子(3-4)

努力賞 溝部 姫菜(3-4)

渡邊 涼乃(3-1)

☆第68回子ども県展

絵画の部 優良校

版画の部 優良校

自分

1年4組 百木 蓮

人に何が言われてもそれは他人の意見に過ぎない
相手の意見も大切だが、一番大切なのは自分を大切にすること
自分の正しいと思うことをすれば
自分に正直に生きれば正しい行いができると信じている

長所を伸ばす3学期に! Part 2

学年末テスト時間割

前回の2年生に引き続き、1年生と3年生の素晴らしいところを紹介します。

◆1年生◆

- ☆不適切な言動に対して、ダメだと言える生徒が多い。
- ☆助けを必要とする生徒へ協力できる生徒が多い。
- ☆生徒会役員選挙等、リーダーに立候補できる生徒が多い。
- ☆専門部活動や係活動は1学期よりもスムーズに行われるようになった。
- ☆素直さがあり、指示の意味を理解して動くことができる生徒が多い。
- ☆集会などでも、職員の話を目に聞く生徒が多い。
- ☆自主的に学習に取り組む生徒が増えてきた。
- ☆教え合い活動ができる。
- ☆総合学習に真剣に取り組む生徒が多い。

◆3年生◆

- ☆ペア学習で教え合う活動では、活発な取組が見られた。
- ☆日常的に休み時間や昼休み、放課後に学習に取り組む生徒が増えた。
- ☆それぞれの授業を軸として、学習面だけでなく、生活面についても指導することにより、生活面及び学級・学年集団のよりよい方向を示した。
- ☆リモート授業により、出席停止の生徒の不安感が軽減した。また、学習に向かう気持ちの面でプラスの効果が見られた。
- ☆昨年度と比べると1日あたりの欠席数・遅刻数・早退数が減った。
- ☆専門部活動の中で、美化コンクールや新聞コンクールなどを仕組んでもらったことで、集団生活の向上が見られた。

3年

2月9日(木) 2月10日(金)

- | | |
|------|----|
| 1 社会 | 理科 |
| 2 保体 | 国語 |
| 3 数学 | 英語 |
| 4 授業 | |
| 5 授業 | |

2月16日(木)

1年 2年

- | | |
|------|----|
| 1 保体 | 国語 |
| 2 英語 | 音楽 |
| 3 社会 | 数学 |
| 4 理科 | 英語 |
| 5 授業 | 授業 |

2月17日(金)

1年 2年

- | | |
|------|----|
| 1 技家 | 理科 |
| 2 音楽 | 保体 |
| 3 数学 | 技家 |
| 4 国語 | 社会 |